

古典に学ぶ

高野切第三種

高橋香樹

平成二十五年四月号から「高野切第一種」を臨書課題としましたが、今月より、仮名第二弾として「高野切第三種」を学んでいきます。

「高野切」は「古今和歌集」を書写した現存最古のもので、約千百首を三人で分担し、その書風の違いから第一種、第二種、第三種に分けられる。一部が高野山に伝わったことから、「高野切」と名

づけられた。「切」とは「断片」ということで、始めは二十巻あったものが今では、巻一、二、三、五、八、十八、十九、二十のみが残っている。第三種は十八、十九が断簡となって伝来している。

尾上柴舟は、「平安時代の仮名は実にすぐれて立派なものであるが、その中で尊むべく、仰ぐべく、拝すべきはまず高野切」といっている。また、田中親美も「高野切古今集は現存せる仮名のうち最も

優れた劇跡である」と高く評価している。

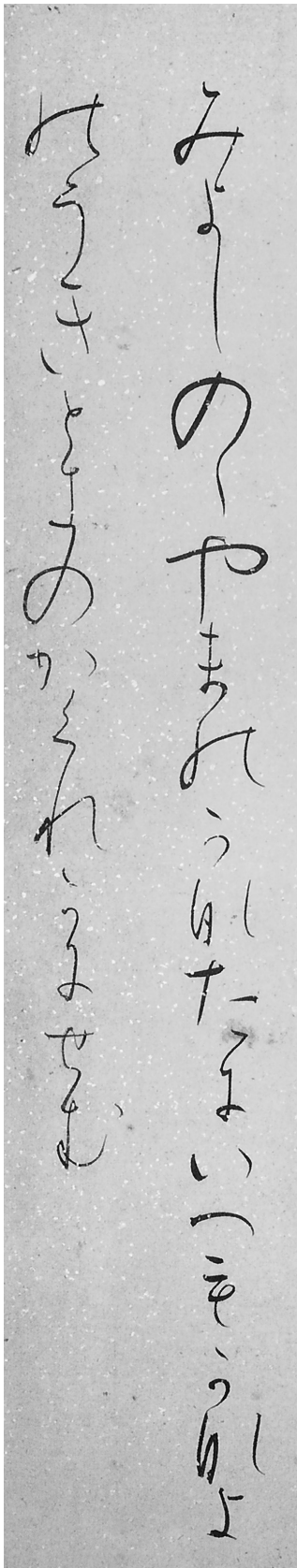
「高野切第三種」は、文字の造形美、線質の洗練美、流麗な筆致といったすぐれた要素を備えた古筆である。

最初は少ない文字を拡大して習い、段々と文字を小さく字数をふやしていきます。後半には「変体仮名」(平仮名以外の草仮名はふつう用いられない仮名であるから

変体仮名といっている。)が含まれた箇所も取り上げてゆき、短歌一首にも取り組みたいとも考えています。

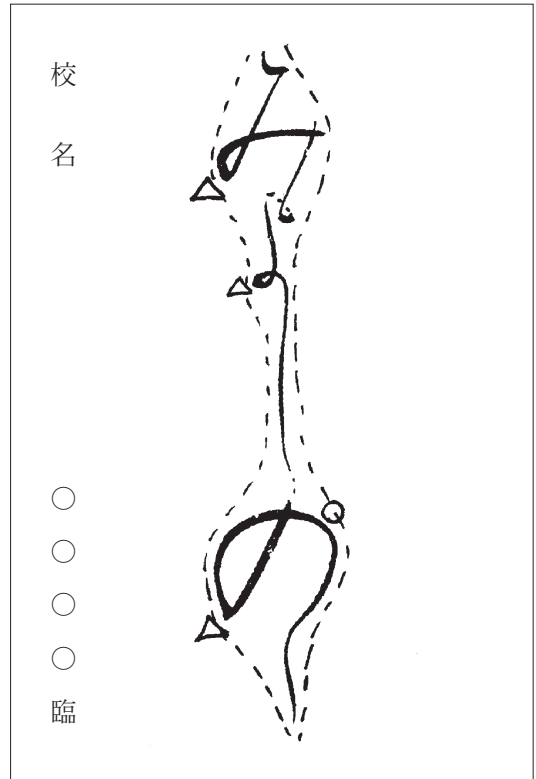
一般の「書筵」は、仮名の課題として俳句一首・短歌一首があります。この臨書が一般誌「書筵」の仮名部への橋渡しとなるように進められたらと考えています。

高野切第三種 (二玄社)



みよしのゝやまのかなたにいへもがなよのうきときのかくれがにせむ (作者・読み人しらず)

高野切 第三種



〈学び方〉

み 真上から入筆。すくい上げるようにして転折へ。次の斜線は直線で、△で筆を突き裏面を使ってやや被せるように曲線で、二画目は細線で「よ」に連綿。

よ 「み」からの連綿をうけ横に、意連にて二画目へ。右に反らしながら結びへ。ここでも△で裏面で結び「し」に連綿。

し 「よ」から連綿のまま左に反らせ、末筆で筆を引き上げ「の」に連綿。

の、 まず強い直線で運筆。△で裏面を使って曲線で、筆を引き上げながら○で表面に変え、大きく余白を取り「ゝ」に連綿。「ゝ」は中程で少し圧を加え末筆で引き上げる。

〔出品〕 高校生、中学生（一般部に編入した人も出品可）

〔形式〕 半紙たて書き

〔締切〕 5月22日

〔発表〕 学生書筵七月号

図のように、校名、氏名、「臨」を記入してください。（段級は記入せず）

校名

みよしのゝ

臨

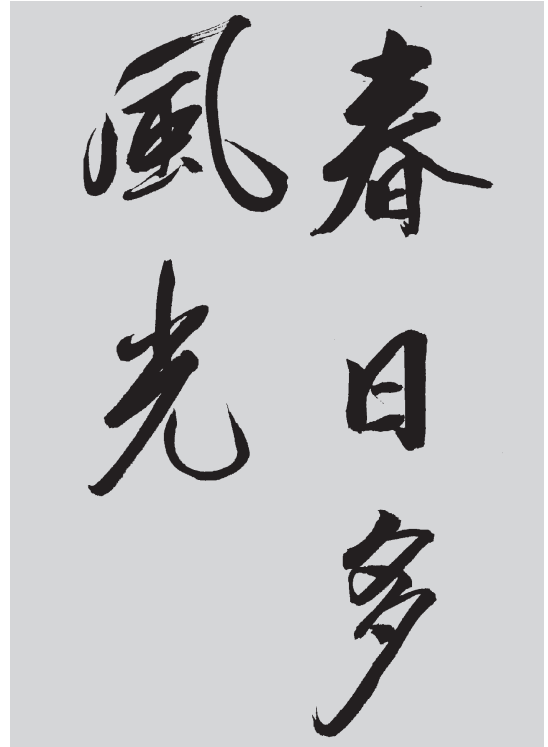
「古典」と記入

2月締切課題「漢記」総評

高橋香樹会長評

今回の課題では、「九成宮」の大きな特徴のひとつではあるが、非常に難しい「記」の終画のハネに注目しました。一般的なハネは上にハネ上げるのですが、このハネは解説にも書きましたが、すくうように右上にハネます。このハネがよくできた方は、写真版以外では、伊藤真菜さん、山本結菜さん、奈良めぐみさん、大木優美さん、向山芽以さん、高清水楓乃さん、長島麗さん、小林達大さん、兼崎夏帆さんでした。

高校漢字(行) 高塚竹堂先生書



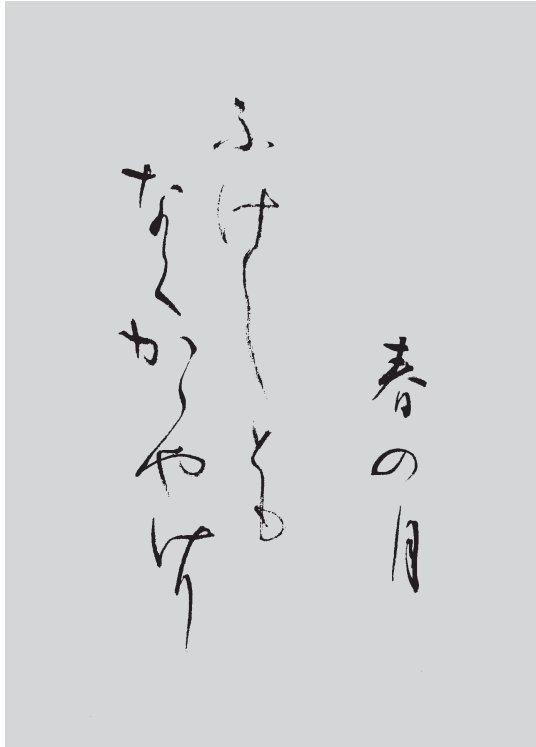
学校名

段級

氏名

春日風光多し

高校かな 北島菁丘先生書



学校名

段級

氏名

春の月ふけしともなくかがやけり（草城）

中学漢字(楷) 高橋香樹会長書



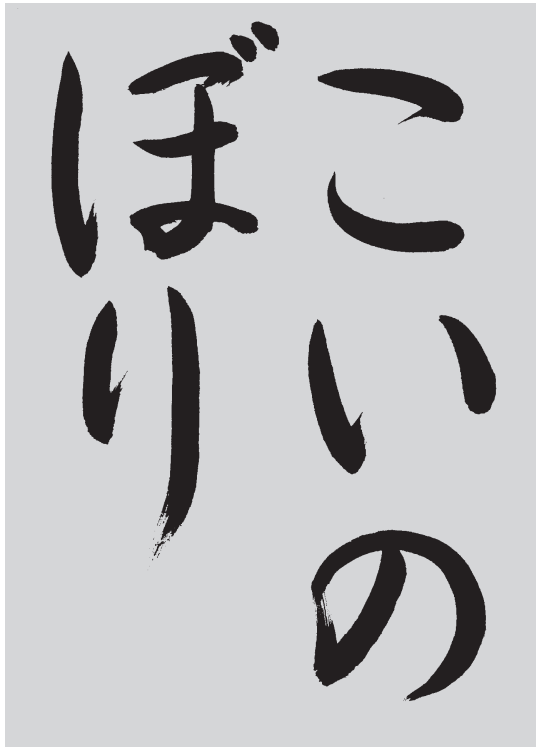
学校名

段級

氏名

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

中学かな 内藤香瑤先生書



学校名

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

小学五年 戸張丘邨先生書

学校名

松青

段級

氏名

い

小学六年 戸張丘邨先生書

学校名

若葉

段級

氏名

小学三年 生駒紅泉先生書

学校名

げ木

段級

氏名

か

小学四年 生駒紅泉先生書

学校名

大地

段級

氏名

注意 1. 会員外の出品料は1作品につき240円。

※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

小学二年 高橋香樹会長書



小学一年 高橋香樹会長書



※ 作品に校名、段級、氏名を書くこと。

硬筆昇試課題手本 (五月二十二日締切)

高橋香凌先生書

※高校・中学はペン又は万年筆、色は黒で書いてくださ

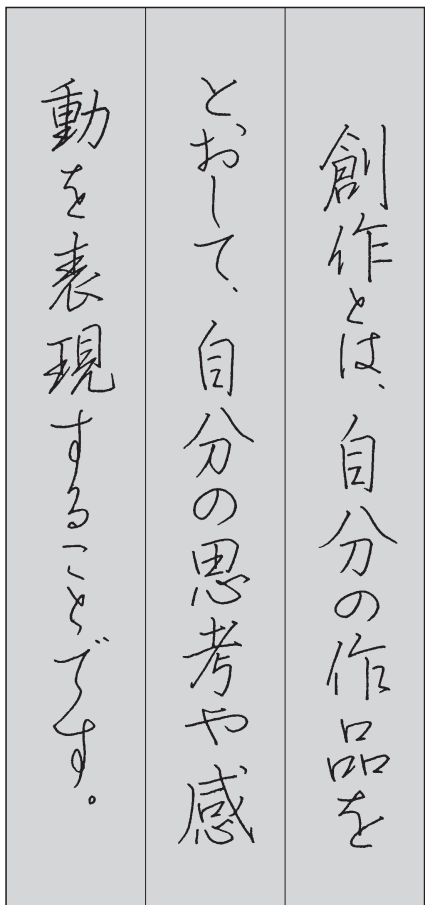
さい。(鉛筆・青インクは不可)

※小学生は鉛筆(2B〜4B)で書いて下さい。

※消しゴムを使用せずに書いたものを提出して下さい。

※注意 会員外の出品料は1作品につき二四〇円。

高校・中学



(東京書籍「書道I」より)

筆順(行書)

ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ

※小学校で習った教科書体(感)と筆順が異なります。

